

会報

No. 70

平成18(2006)年8月15日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL (075) 762-4655

期せずして、この紙面に三度目の機会をいただくことになりました。それにしても、一九七六年六月に京函連協が発足して三十周年の節目の年に会長席を汚すことになり心苦しく思います。

さて、私が会報No.六五においてそれへの期待について触れました「これからの図書館の在り方検討協力者会議」からの報告が、『これからの図書館像―地域を支える情報拠点をめざして』と題して先ほど冊子が文科省から送付されてきています。

この報告は、「皆さんの図書館に対するイメージはどのようなものでしょうか、多くの方は、図書館を、趣味や娯楽のための施設、本を貸し出す場所、学生が勉強するための空間として受け止めているのではないのでしょうか。」と刺激的な呼びかけから始まっています。内容は私の期待から歯がゆいものがありますが、現実との接点のうえに今日状況を総

体的に集大成した到達点として理解します。

私はこの報告書から、貸出冊数を追うサービスの展開は、貸出冊数が欧米並になってみても住民の過半数も図書館利用者となるに至らないままで頭打ちを迎えている現状への危機感をもつこと、パイが限られている中で幅広く利用者を開拓するには、現在利用者の既得権に公平性の原理をかぶせることも迫られることなどを読み解くのですが如何でしょうか。このような意味においてこの報告書は大きな変革の必要性和その具体的方策例を提示しているように思います。できれば京函連協三十周年の記念集会を企画し、この報告書を取り上げるのは如何でしょうか、その際は歴代の会長をお招きして座談会をしていただくのも一興かと思えます。

ところで私、精華町立図書館生活の三年目を迎えます。職員一人当り

就任のごあいさつ

どいぞよろしく、そして一言

京都府図書館等連絡協議会会長

精華町立図書館長

小山雄一



の貸出冊数や予約処理数、他を抜き出すような状況

下で、十分などは言い切れないかも知れませんが、レファレンスにも親切に対応を行っています。そのような中、「自動車リサイクル法ができたらわし等の仕事にどんな影響があるのか知りたい」と油にまみれた仕事着を身につけた小企業の経営者らしい人から受けた例と「警察から受けた人権侵害を国際司法裁判所に個人が直接訴えるにはどのようにしたらよいのかを知りたい」と真剣な表情の中年男性から受けたレファレンスのことを今思い起こします。このような課題解決型利用者は決して貸出冊数の増加には貢献しないでしょうから、課題解決型図書館をめざして潜在利用者を掘り起こす営みは、これまでの貸出冊数を重視した評価の方式に転換を求めてゆくものと思えます。

最後に、『みんなの図書館』六月号が、「選書が変われば、図書館が変わる」というタイムリーな特集を掲載していることをご案内します。

平成十八年度

京都府図書館等連絡協議会定期総会開催

平成十八年度京図連協定期総会が、平成十八年五月十七日（水）午後一時三十分から、府立図書館において開催されました。

まず、開会行事として、小山雄一会長のあいさつ、岡村光章国立国会図書館関西館事業部長、角南ちえみ京都府教育庁指導部社会教育課長（代）からの来賓あいさつ、津守俊一京都府立図書館長の歓迎あいさつがありました。

その後、平成十八・十九年度の理事紹介があり、議事に入りました。総会の後には、図書館業務に永年勤続し、その功績を認められた十七名の方の表彰、並びに、「図書館の危機・安全管理を図書館経営に生かす」をテーマに、大学非常勤講師（元富士市立西図書館長）の山本宣親氏からご講演をいただきました。（詳細は、次ページ）

◇総会議事

総会は、奥西安己京田辺市立中央図書館長を議長に選出し、加盟館

五十一館中、出席三十二館・委任状十八館・欠席一館により、総会が成立していることを確認した後、議事が開始されました。

まず、事務局から、平成十七年度会務及び決算報告がされました。監事の梅原武京都市南図書館長から監査報告をいただき、会務報告・決算報告ともに承認されました。

また、長谷川幸治京都市西京図書館長、仁科晴夫八幡市立八幡市民図書館長を監事とすること、中嶋晴彦京都市中央図書館長、辻逸司府立総合資料館長、津守俊一府立図書館長を顧問とすることが、それぞれ承認されました。

その後、平成十八年度事業計画（案）及び予算（案）が提案され、それぞれ承認されました。最後に、協議と採決が行われ、全議案の承認を確認し、総会が閉会しました。

◇会務報告・決算報告

会務報告では、「図書館間協力で借り受けた図書の複製に関するガイ

ドライン」及び「複製物の写り込みに関するガイドライン」の発表、府内市町合併による中央・分館体制の増加、学校との連携、資料費の減少等の下で図書館の動向や相互協力の増加が報告されました。

次に、各専門委員会の活動として、研修研究委員会からは三回の実務研修会（子ども読書活動指導者研修会南部会場を含む）、相互協力委員会からは、拡大相互協力委員会の開催での貸出文庫用図書の相互貸借資料への運用、インターネット取寄せ申込みサービスの検討、実務担当者会での府内図書館の協議、さらに、広報委員会からは三回の会報発行がそれぞれ報告されました。決算報告では、各専門委員会委員への旅費の支出等が報告されました。

◇事業計画・予算（案）

事業計画では、特に、府内三会場での「子どもゆめ基金助成」事業（三カ年計画）として、今年度は中部会場で実施すること、（拡大）相互協力委員会等におけるインターネット取寄せ申込みサービスの検討等が提案されました。予算では、市町村合併に伴う分担金の減少が提案されました。

◇表彰者一覧（敬称略）

永田 圭代（京都市山科図書館）
吉川 美香（京都市洛西図書館）
沖田紗世子（宇治市西宇治図書館）
奥 三津子（城陽市立図書館）
河口 静香（城陽市立図書館）
徳網あさみ（城陽市立図書館）
増井 千鶴（城陽市立図書館）
山木 美里（城陽市立図書館）
山口 敏子（城陽市立図書館）
瀧本 晶子（城陽市立図書館）
本園 郁子（城陽市立図書館）
福富 美加（城陽市立図書館）
木村 智子（京田辺市立中央図書館）
辻 玲子（京田辺市立中央図書館）
伊藤麻美子（宇治田原町立図書館）
廣垣 暁子（宇治田原町立図書館）
杉山 嘉（府立総合資料館）
受彰者の皆さま、おめでとうございました。



講演会総定期

「図書館の危機・安全管理を図書館経営に生かす

「厳しい情勢を発展のチャンスに」(要旨)

元富士市立西図書館長

静岡文化芸術大学・常葉学園大学非常勤講師

山本宣親氏

刑法犯罪は二十一年間で十二・八倍に増え、検挙率は六十%台から

二十%台へ。多犯罪やモラル欠如等の社会情勢は図書館にも反映し、危機安全管理マニュアルが必要とされ

ます。しかし、既成マニュアルの館名を変えるだけでは、必要時に何の役にも立ちません。一番大切なこと

は、職員の総力をあげた取り組みをすることです。今までに自分が体験し

怖かったこと、危なかったこと、そして「こういうことが起こった場合はどうするか」ということまで、全

職員で潜在リスクを洗い出し、そのうち図書館が責任を負えるリスク

に対してどう対応するかをまとめます。突発的な事故等の初動体制

も盛り込みます。館長中心に組織的にマニュアルを作成



し、全職員の意識を共有することが望ましいやり方です。

図書館の危機安全管理の管理は利用者者と職員の安全であり、利用者と共に館内を安全な雰囲気のない図書館にするのだという基本姿勢が何より大切で、利用者への基本的態度

はまず見て見ぬふりをしないこと、社会教育の立場で対応するということです。見過ごさず報告し、一人

で対応が難しい場合は他の職員の応援を求め、その場に居合わせた場合は

対応中の職員を応援します。自分の子どもが騒いでも注意しない親子連れ、騒々しい中高生グルー

プに対しては、公共マナーを社会教育するという立場で臨み、図書館利用の権利と義務を知らせる利用者教

育が必要です。悪臭の強い服で入館するホームレスらしき人へも、他の

人の迷惑になる場合はきちんと注意すべきです。そうしなければ、開館と同時にぞろぞろ入ってきて我が物顔で顔を洗ったり歯を磨いたりとい

うような状況になってしまいがちです。最初に毅然とした態度を取らず手遅れでどうしようもない状態にならないうちに、徹底して館内の雰囲気良くするため

の努力を払わなければなりません。これは危機管理の中の重要な項目です。

図書館の危機安全管理の問題は、図書館で起こる様々な困った現象の対応という問題でもありますが、図書館そのものの存在を失うかどうかという危機でもあります。

図書館とは何か。私は小学生に「図書館は“人”から“人間”になるところだよ」と説明しています。食べ物

ではなく、本を中心とした情報を沢山得ることによって目に見えない部分を成長させる。その支援が図書館

の役割だと。図書館は図書館サービスを提供して、人に役立ち、地域へ

貢献する仕事をしています。これまでの図書館は、単に本を置いてある施設で、一部の本好きの人が無料で本を借りたり学生が勉強に行く所

と一般的に思われてきました。しかし、これからは問題解決型の図書館として、単に本を渡すだけ、

事柄を伝えるだけではなく、本当に求められているのは何かを知り、求める人の気持ちに沿って的確に伝える能力が特に必要です。

館長としての責務は、世間に図書館を理解してもらうことです。行政の管理部門への働きかけも大事です。行政分野は、道路、水道、福祉

等どこにしても国や県の一定基準があり、自治体によって大きな違いはないのに、図書館だけは、図書購入費だけでも十倍から百倍に近い差が出てきます。そういう状況を的確に知らせる必要があります。同規模のまちと比較した自分達の図書館レベルからまず発信して下さい。

そして司書や職員を適切にマネジメントして下さい。危機管理にとって一番大切なことは、図書館で働く社会的意義を自覚することです。

従って、マニュアルを作成する場合に、こういうことも含めて全職員が意識を共有し、良い図書館にして守ろうという意識を持って全員が同じ

方向で対応すれば、必ず利用者の応援が生まれます。利用者に支持される図書館運営をすることが、図書館

の理解、図書館が大切だという理解に繋がります。つまり危機管理を発展のチャンスとして図書館経営に生

かすのです。図書館が富士山のごとく市民からいつでも見える存在になるように、

各々の館が考え実行していくことで頂きを高めていきましょう。その第一歩は来館者への挨拶です。

図書館が富士山のごとく市民からいつでも見える存在になるように、各々の館が考え実行していくことで頂きを高めていきましょう。その第一歩は来館者への挨拶です。

図書館が富士山のごとく市民からいつでも見える存在になるように、各々の館が考え実行していくことで頂きを高めていきましょう。その第一歩は来館者への挨拶です。

イメーシキャラクター
『なびっと』
～誕生のウラ話～
南丹市立図書館の取組み

平成十八年一月一日、園部・八木・日吉・美山町の四町が合併し南丹市が誕生しました。

自治体の

合併に伴う図書館行政の最大の難問はやはり、大きな予算を必要とする図書館システムの統一及びデータベースの構築にあります。残念ながら現時点において南丹市の明確なシステム統一の時期が決定しておらず、また当初の『緩やかな合併』というコンセプトの基、各館の開館時間や休館日などは、従来からの内容のままでの運営となっています。



合併はしたものの様々な状況から、当初は四つの図書館・室の一体感は少々希薄で、難問多き図書館行政に立ち向かうべくチームワークや士気に物足りなさを感じていました。そのような状況を少しでも改善するために、全館での共通した取組の必要性を強く感じていました。そこで考えたのが南丹市立図書館共通の

マスコットキャラクターの設定とその名づけ親の公募でした。

合併直前に、合併準備局より図書館の封筒デザインの希望調査に対し、文化施設に相応しい柔らかかなイメージとするため、イラストを入れたいと要望していました。

時間に迫られる中、南丹市立図書館共通のイメージマスコットの『うさぎちゃん』が何とか誕生。そして

公募により名づけ親を探す作業に入りました。四百通を超える作品の中から、市内在住の小学三年生の『なびっと』に決定しましたが、その理由がちよっとステキな内容でした。



南丹市の『なび』、

英語のラビットから『ビット』とここまでは、誰もが考えるところですが、『ビット』とは情報



量の最小単位でもある点、まさに図書館にぴったりと云う事で、子ども読書の日に名付け親認定式を行い、認定証のほかに『なびっと』のイラスト入り図書館バックと、『なびっと』ストラップを進呈しました。

実は『なびっと』誕生を機に、従来からの取組である、『本のちよきん通帳』の二冊目に挑戦中の利用者に対して、何か良いプレゼントができればと考えていたところ、『なびっと』の誕生により南丹市立図書館オリジナルグッズも誕生。

その他にも、ピンバッジを製作し、図書館職員はもとより教育長・教育委員会職員・市内の保幼小中学校長及び職員に対しては、有料にて販売して原資を捻出し、今後は市内のボランティアや子ども読書活動推進にご尽力いただいている方々に、配布する予定です。

図書館キャラクター『なびっと』に関する取組は始まったばかりですが、それでも来館者に対するアピール効果は予想以上に大きく、中だるみの感があつたちよきん通帳の取組に対するテコ入れもできたのではなにかと考えています。

単純な発想からの取組ではありませんが、今後南丹市の様々な場面で多くの『なびっと』が活躍してくれば、図書館だけでなく地域全体が一丸となって、読書活動を推進するためのシンボルとなることでしょう。今日も、わがまちの教育長の車のリアガラスに貼られた『なびっと』シールは、様々な道を駆け抜けています。



ですが、留学や仕事、旅行、移住等、日本人が海外へ出て行くための情報を得る場として大いに活用できます。

世界各国や、京都・日本を紹介する資料が集められている図書室です。各国の新聞・雑誌・地図をはじめ、約百三十言語の辞書、千三百冊あまりの絵本や、海外旅行・留学関係の本などが豊富です。全世界のTV方式に対応したビデオデッキや海外のDVD再生可能なDVDプレイヤーを設置しているビデオライブラリーや、姉妹都市コーナーもあります。また、英語を中心に五ヶ国語、約五百七十冊の外国語ペーパーバックの貸出サービスもしています。現在は外国の方の利用が多いようですが、

こんな図書館知ってほしい。
海外生活のことを調べるなら
◇京都市国際交流会館 図書・資料室◇



所在地：京都市左京区南禅寺交差点
 (地下鉄東西線「蹴上」から徒歩約6分
 市バス「京都会館・美術館前」から徒歩12分)
 開室時間：9:30～20:30
 休室日：月曜・月末1日
 料金：無料
 電話：075-752-1187
 ホームページ：http://www.kcif.or.jp/
 貸出：ペーパーバックのみ1人3冊まで2週間
 (京都市在住・在勤在学-要確認書類)

平成十八・十九年度

京図連協役員体制

- 会長 小山 雄一 (精華町立図書館)
 副会長 山本 明宣 (舞鶴市立西図書館)
 理事 内藤 幹夫 (京都市醍醐中央図書館)
 南北 敦子 (京都市立図書館)
 西村 千秋 (長岡京市立図書館)
 山崎 健藏 (京都市北図書館)

平成十八・十九年度

専門委員会委員一覧

- ◎ 研修研究委員会
 委員長 内藤 幹夫 (京都市醍醐中央図書館)
 委員 岡本三容子 (向日市立図書館)
 平田 浩三 (八幡市立男山市民図書館)
 奥村 幸子 (木津町中央図書館)
 石川 佳奈 (山城町立図書館)
 栗林さよ子 (亀岡市立図書館)
 大西 敏之 (南丹市立中央図書館)

◎ 相互協力委員会

- 委員長 南北 敦子 (京都市立図書館)
 委員 五十棲千景 (長岡京市立図書館)
 西村恵里香 (宇治市中央図書館)
 新築 猛 (久御山町立図書館)
 辻 玲子 (京田辺市立中央図書館)
 西陰地成美 (井手町図書館)
 白鳥 貴子 (精華町立図書館)
 岡山 理恵 (舞鶴市立東図書館)
 吉田麻由美 (宮津市立図書館)
 松岡 豊美 (京丹後市立あみの図書館)
 上田まゆみ (京都市中央図書館)
 芝 智恵子 (京都市立総合資料館)
 川上 元 (京都市立図書館)

◎ 広報委員会

- 委員長 西村 千秋 (長岡京市立図書館)
 委員 山中真理子 (城陽市立図書館)
 鈴木 琢也 (宇治田原町立図書館)

平成十八年度研修計画

現在分かっている範囲の研修計画
 をお知らせします。

◎ 第九十二回全国図書館大会
 期日：十月二十六日(木)～
 十月二十七日(金)

開催地：岡山県岡山市
 テーマ：「晴れの国岡山から未来
 へ向けて」広げよう図
 書館の可能性」

◎ 全国公共図書館研究集会
 * 総合・経営部門
 期日：平成十九年一月十八日(木)
 ～十九日(金)

開催地：山口県山口市
 テーマ：変革期における住民のため
 の図書館経営―地域支援
 サービスの形成に向けて―

* サービス部門
 期日：十月五日(木)～六日(金)
 開催地：山梨県甲府市
 テーマ：「明日」への図書館サー
 ビス―変革期に求められ
 るもの―

* 児童・青少年部門
 期日：十月十九日(木)～二十日(金)

森井 里美 (加茂町立図書館)
 立藤 江理 (綾部市図書館)
 林川 明子 (京都市岩倉図書館)
 坂本 紀子 (京都市立総合資料館)
 永木 博美 (京都市立図書館)

開催地：北海道札幌市
テーマ：広げよう！つなげよう！
子どもと本と明るく未来

◎近公園研究会(兼児童奉仕部門)

期 日：平成十八年
十一月二十二日(水)
開催地：滋賀県大津市
テーマ：未定

◎第十五回京都図書館大会

日時 平成十八年九月六日(水)
十時二十分～十六時
三十分(受付十時)
会場 京都市子育て支援総合
センターこどもみらい館
基調講演
「館種を越えて子どもの読書を考える」
講師 京都ノートルダム女子大学
助教授 岩崎 れい 氏
ケーススタディ
・京都市子育て支援総合センター
こどもみらい館子育て図書館
・京都市立東山小学校
・南丹市立美山中学校
・京都造形芸術大学
芸術文化情報センター
ピッコリー
・城陽市立図書館
フロアーディスプレイ
「相互の連携に向けて」

新任図書館施設 長紹介

京都市伏見中央図書館 田中 孝二
同醍醐中央図書館 内藤 幹夫
同右京図書館 山崎 一茂
同醍醐図書館 清水 孝章
同久我のもり図書館 仲田 義明
同こどもみらい館子育て図書館
向日市立図書館 澤村 憲治
宇治市中央図書館 伊藤 勉
城陽市立図書館 森口 光治
井手町図書館 原田 賢志
宇治田原町立図書館 久野村 観光
木津町中央図書館 原田 茂弘
山城町立図書館 西岡 元廣
加茂町立図書館 村井由美子

★専門委員会二ニュース★

◎研修研究委員会

第一回委員会が七月六日(木)、
府立図書館において開催され、本年
度の活動計画について協議された。
結果は次のとおり。
北部ブロック
平成一八年十二月上旬開催予定
場所 みやづ歴史の館
「図書館活動と著作権」
中部ブロック
「京都府子ども読書活動

指導者研修会」

平成十八年十一月二十五日(土)
場所 京都市アバンティホール
講師 木城えほんの郷
事務局長 森 一代氏
神戸コダワイ芸術教育研究所
代表 小林 純子氏
南部ブロック
会場、テーマ等引き続き検討。

◎相互協力委員会

平成十七年度実務担当者会議が平
成十八年三月二日(木)、府立図書
館にて開催された。府立図書館か
ら、京都学園大学を十八年度連絡協
力車巡回ポイントへ追加、機関貸出
対象の貸出文庫用図書データの追加
登録、相互貸借用袋の用意、雑誌・
新聞総合目録及びインターネット取
寄せ申込みサービスの現状等の報告
があった。また、相互貸借図書の借
受館での複製について各館の対応
を、府立図書館が取りまとめ通知す
ることとなった。

交流協議では合併後の自治体内図
書館間の資料搬送について意見交換
された。府立から図書を貸出す場合
に図書の破損等の状態によっては、貸出
不可の対応をしてほしいとの要望に
ついては、事前チェック等注意する
との回答があった。京都市図書館か
らは、K-Linetに横断検索での十八年
度参加予定と、借受希望時のFAX版
wantedの廃止について報告があった。

◎広報委員会

平成十八年度第一回広報委員会を
六月八日(木)に府立図書館で開催し、
今年度の発行計画、広報方針及び会報
第七十号の編集等を協議しました。
今年度の発行は年三回とし、

- ・第七十号 八月十五日
- ・第七十一号 十一月十五日(予定)
- ・第七十二号 三月十五日(予定)

★編集子★

新広報委員による初会合を開
催し平成十八・十九年度の広報
の方針を決定。内容につきまし
ては、お知らせすべき基本的項
目と、各図書館の事業等を参考
にして頂くため各館の多彩な事
業やトピックスの掲載を継続、
新規企画としてテーマを切口に
京都市の現状や実践館の紹介、
府内外の専門図書館等を紹介す
ることに決定しました。
新たな図書館サービスを展開
する上で参考となる紙面づくり
に取り組みますので、ご協力を
お願いします。